

学校経営方針

板橋区立向原小学校

校長 浅見 智則

1 いたばし学び支援プラン2025（「教育の板橋」実現に向けたアクションプラン2年目）

3つの戦略的視点

- GIGAスクール構想・・・資質、能力が確実に育成できる教育ICT環境を実現する構想
- ESD・・・地球規模の課題を自分のこととして捉え、課題の解決につながる新たな価値や行動を生み出すこと、それによって持続可能な社会を創造していくことをめざす学習や活動。
- 学びの循環・・・学びを一過性のものにせず、その成果を自らの日常生活や仕事にいかしたり、地域の課題解決のための活動につなげ、その中で更に学びを深めたりし、学びの循環を生み出す。

4つの柱

- 保幼小接続・小中一貫教育の推進・・・小中一貫教育を貫き育てたい資質・能力は「読み解く力」
- 板橋区コミュニティ・スクール（iCS）の推進・・・地域とともにある学校
- 学校における働き方改革・・・心身の健康保持。「誇り」と「やりがい」
- 誰一人取り残さないための居場所づくり・・・居場所があることによる満たされた状態

9つの重点施策

- 確かな学力の定着・向上（読み解く力、図書館、英語力、プログラミング）
- 豊かな人間性の育成（キャリア教育、いじめ防止基本方針、環境教育）
- オリパラ教育の推進（レガシーとしての継続、行動体力、防衛体力）
- 質の高い教育環境の整備（特別支援教育、不登校対策）
- 保幼小接続教育の実現（保幼小の円滑な接続、小中一貫教育の推進）
- 安心・安全な環境の整備（魅力ある学校づくり、自分を守り相手を大切にす教育の推進）
- 地域による学びの促進（地域人材、子供たちの健全育成）
- 生涯学習の充実（世代を超えた学びの循環）
- 家庭教育に対する支援（家庭教育支援の推進）

2 学びのエリアのめざす子ども像

自律 ～探究する力を高めることを通して～

めざす子ども像にせまるための基本方針

- 基本方針1 読み解く力の育成
- 基本方針2 あいさつの活性化
- 基本方針3 支援の必要な児童・生徒への継続した支援の実現

3 特別活動の充実

- 基本である学級活動の充実（話し合い、合意形成、役割分担、自主的・実践的な取組）
- よりよい学級生活をめざす活動を通して、学級集団の協働性を高める
- 役に立つ喜びを実感し、互いのよさを認め合う活動で一人一人が大切にされる
- 児童が自主的によりよい生活や人間関係を築くことにより、学び合う学級の雰囲気をつくり、学ぶ意欲をもった学級集団に成長させる

4 本校の教育目標

学校教育目標

- ◎よく考える子 ～最後まで課題に取り組み 解決しようとする子～
- 思いやりのある子 ～自分を大切にし すすんで人とかかわることができる子～
- たくましい子 ～よく食べ よく寝て よく遊ぶ子～

5 目指す学校像

学校・保護者・地域、みんなで作る穏やかな空気の下で
「笑顔があふれる元気な向原小学校」(周年というまたとない機会を生かす)

笑顔あふれる元気な児童

学ぶ喜び、自分が大切にされている喜び、何かをやり遂げる喜びを感じることができる児童

笑顔あふれる元気な教職員

児童の学びを支え、常に児童と本気で向き合い、共にやり遂げた充実感を感じることができる教職員

笑顔あふれる元気な保護者と地域の方々

我が子を通わせてよかったと感じる保護者
本校を自慢し、誇りにしている地域の方々

6 目指す学校にせまるための指導の重点(目指す教職員像)

(1) 確かな学力、生きる力を育む授業の創造

学び合う教室づくり、授業づくりを大切にする教職員

ペアやグループ学習の充実、机の配置等授業形態の工夫

読み解く力の育成をめざした授業をつくる教職員

「読み解く力」の6つの基礎的読解力の意識、本年度はアウトプットに重点

規律ある生活を通し、心を育む教職員

よいことはみんなの前で本気で褒め、よくないことは個別に本気でしかる 決して怒鳴らない

児童のよさを見つけ、自信をもたせる教職員

1日に1回は必ず学級の全児童とかかわる

3匹のカエルを育てる教職員

「かんがえる」「まちがえる」「ふりかえる」を大事にする

授業で勝負できる教職員

プロである誇り、研修への積極的な参加、授業力の向上を貪欲にめざす

計画は緻密に、指導は大胆に

教師が授業に臨む姿勢

- 授業の開始と終了時刻を守る。
- この時間のねらいを明確に伝える。
- 指名は必ず「～さん、～くん」
- 間違えた児童が恥ずかしい思いをしないよう配慮する。
- 授業の終わりには、必ず次時の予告をする。

児童に身に付けたい授業に臨む姿勢

- 授業が始まる前に学習の準備を整える。
- 正しい座り方、姿勢。
- 意見は起立して話す。
- 話す人の方を向いて、最後まで聞く。
- 正しい言葉遣いで話す。

(2) 安心・安全な学校

常に最悪の状況を想定する

危機管理意識の高い教職員

災害や不審者だけでなく、教室内の児童や施設の様子にも気を配る

教育環境の整備に気を遣う教職員

子供の目線で確認する 保護者の目線でも確認する

報告、連絡、相談そして記録を確実にできる教職員

確実な記録は良くも悪しくも必ず生きる

情報を共有し合うことのできる教職員

1日の終わりは職員室で、子供の話で大笑いできるように

いじめを見抜く豊かな感性をもつ教職員

正義が確立する集団作り、善悪の判断や集団のルールに視点を置いた教師の言動

教師の安全・安心に対する姿勢

- 体罰、不適切な行為はゼロ。教育者として毅然とした指導を行う。
- いじめ、不登校を芽のうちに摘み取る。
- SCの来校日は必ず情報交換をする。
- 欠席が2日続いたら、担任は家に確認の電話を入れる。
- 事故は、その日の夕会で必ず報告。
- 事故を予見し、先手を打った指導をする。
(施設、児童の行動、天候等)

児童に身に付けたい安全・安心

- 最終的に、自分の命は自分で守るという意識を育てる。
- 叱られたときには、自分のいけなかったところをしっかりと言える。(大人は正直に言ったことを必ず褒める)
- 他の児童のよくない行動を、こっそりでも、大人に伝えることができる。(大人は言ってきた児童をしっかりと守る)

(3) 一人一人を大切にできる教育の推進

チーム 向原！！

人権意識の高い教職員

一人一人がそれぞれの家庭の大切な子供であるという意識

互いに切磋琢磨し、協働の姿勢をもつ教職員

仕事は厳しく、生活は楽しく

言語環境を整え、正しい言葉遣いで児童と接する教職員

正しい言語で話し、正確で丁寧な文字を書く

子供の活躍に感動できる教職員

先生はいつも見てくれているという思いを感じさせるように

子供の話をしっかりと聞く教職員

状況に応じて必ず複数で対応する

教師が一人一人を大切にできる姿勢

- 呼び方や不用意な言葉に気を付ける。
- 掲示物や作品への配慮。
- 揉め事の際は、必ず双方の意見を聞いた上で、納得させる。
- 虐待の可能性に対する早期発見。

児童に身に付けたい心

- 性別、国籍、障がいの有無などに関係なく、みんなが仲間であるという子供なりの人権感覚。
- 周りの人たちに愛されて自分がいるという意識と、周りの人に対する感謝の気持ち。
- 自分が学級や学校の役に立っているという自己有用感。

(4) 教職員の資質向上

指導力や校務処理能力を高め合う教職員

指導力や校務処理能力のアップは、最終的に子供に返る

自分の力を信じ、努力を惜しまず、自分自身に自信のもてる教職員

天狗にはならず、謙虚な日常が、最終的な自信につながる

教育公務員としてサービスの厳正を徹底できる教職員

当たり前ことは当たり前を守る（体罰、不適切な発言、交通事故、わいせつ・・・）

心も体も健康な教職員

働き方改革を意識する。めざせ1ヶ月の時間外在校時間45時間以下。

互いに挨拶をし合うことのできる教職員

子供に身に付けさせたいことは、まずは自分たちから

「立ち止まって挨拶」 「先語後礼、先言後礼」

創意工夫のある教職員

提案における「例年通り」は死語とし、改善や工夫を必ず一つは入れる

自分が伸びれば子供も伸びる

板橋区授業スタンダードの徹底

- 1 授業のはじめに学習のねらいを明確に示し、授業の終わりに子供自身に学んだことを振り返らせる。週案にも毎時間のめあてを明確に示す。
- 2 子供が自分で課題を解決する時間を確保。
- 3 友達と自分の考えを交流してお互いのよさに気づき、よりよい考えを創り出す時間を確保。
- 4 電子黒板や一人1台端末などのICT機器を活用して、「分かる できる 楽しい」授業を進める。
- 5 習熟度別学習の実施や、補充的な学習で、基礎的・基本的な知識を確実に習得する学習を充実させる。

(5) 保護者・地域の方々との信頼関係の構築

個人情報の管理ができる教職員

持ち出し、配布物、職員室机上、学校外での会話・・・

外部人材を積極的に授業に活用する教職員

にっこり支援地域本部校のよさを積極的に活用

早期対応を常に意識している教職員

先生はすぐに対応してくれたと感じてもらえるように いそがしかったはNG

来校者や電話には誠実で失礼のない対応に心がける教職員

社会人として、向原小の代表として

地域行事に参加する教職員

休みの日にとおもいますが、地域の人たちも休みなのに本校児童のために時間をつくってくれています。子供たちも喜んでくれます。

コスト意識の高い教職員

ペーパーレス化の推進、私費会計の減少

誠意とはすぐやることである

信頼関係を構築するために

- 1にも2にも早期対応
 - ・首から上のけがには特に注意。
 - ・連絡帳はコピーを朝のうちに管理職へ。
 - ・連絡帳より電話、電話より直接顔を見て話す方が気持ちは確実に伝わる。